MD1230/MP1590 RateTool.exe Readme

2011 年 1 月 12 日 アンリツ株式会社

はじめに

MD1230/MP1590 ファミリの Tx Stream 機能では，複数のストリームで個々のストリームのレートや送信時間を直接指定できません。RateTool.exe (以降，本プログラム) はこの問題に対し，複数のストリームでレートと送信時間を指定する場合に必要な設定内容を求めることができるツールです。

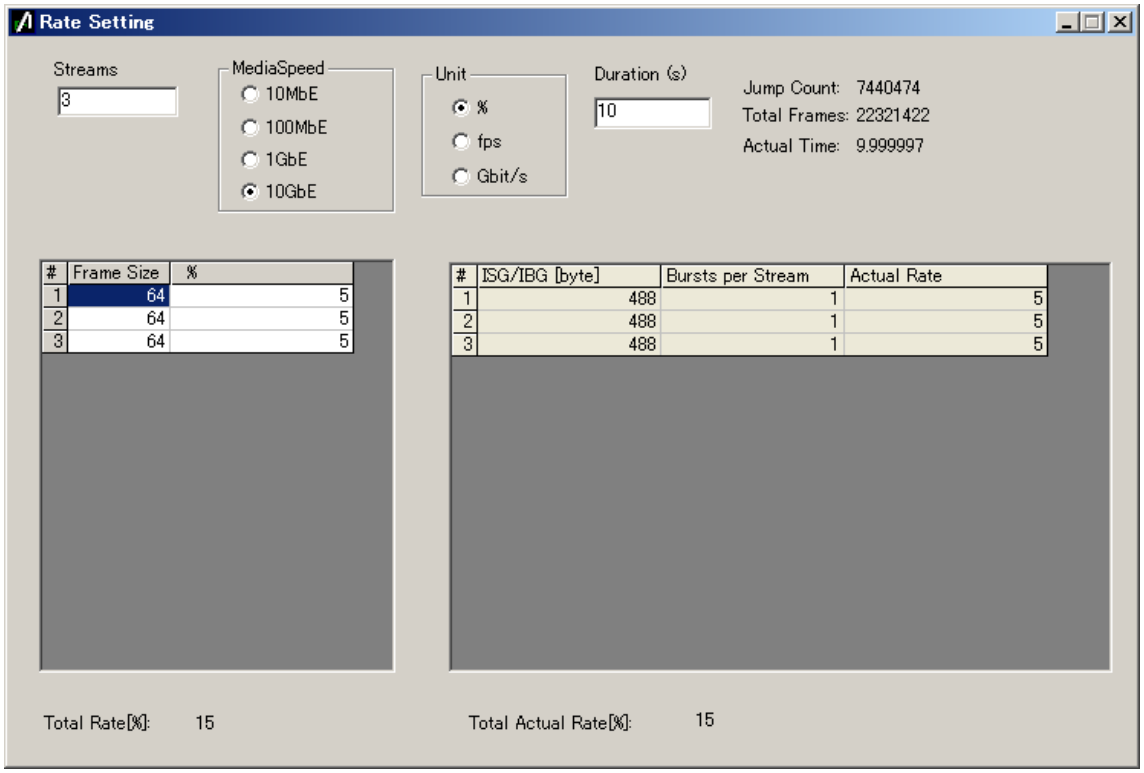
プログラムのインストール

PC または MD1230/MP1590 のハードディスクに，本プログラム（RateTool.exe）をコピーしてください。

プログラムの使用方法

本プログラムを利用して，複数ストリームのレートと送信時間を設定する手順について説明します。

本プログラム（RateTool.exe）をダブルクリックすると以下の画面が表示されます。送信レートや送信時間などの必要な項目を入力すると，指定されたレートや時間で送信する場合のストリーム設定内容が表示されます。



必要な入力項目は次のとおりです。

項目	説明
Streams	設定ストリーム数
Media Speed	使用しているイーサネットモジュールのメディアスピード
Unit	指定するレートの単位
Frame Size	送信フレームサイズ
(%，fps，Gbit/s)	各ストリームの送信レート
Duration	送信時間

入力値に対して以下の計算結果が表示されます。赤字の計算結果は，入力値が不正であることを示します。入力値を確認してください。

項目	説明
ISG/IBG [byte]	各ストリームに設定する Inter Stream Gap，Inter Burst Gap 設定値
Bursts per Stream	各ストリームに設定する Bursts per Stream 設定値
Actual Rate	本計算結果を適用した場合に実際に送信されるレート
Jump Count	最後のストリームに設定する Jump Count 設定値
Total Frames	本計算結果を適用した場合に実際に送信されるフレーム数
Actual Time	本計算結果を適用した場合に実際に送信される送信時間
Total Rate [%] Total Actual Rate [%]	入力値の合計%レートと本計算結果を適用した場合の実際に送信される合計%レート

本プログラムで計算した結果を使用して Tx Stream 機能を以下のように設定します。

1. 本プログラムで指定した数のストリーム設定を作成します。
2. 各ストリーム設定の Frame Length を本プログラムで指定した値にします。必要に応じてヘッダ・データパターンを設定します。
3. 各ストリーム設定の Distribution を以下のようにします。

最後のストリーム	送信時間を指定する場合は［Jump to Stream for Count and Stop］にします（Jump to ID は 1)。送信時間を指定しない場合は［Jump to Stream］にします。
それ以外のストリーム	[Next Stream]にします。

4. 各ストリーム設定の Inter Stream Gap, Inter Burst Gap を本プログラムの計算結果に設定します。※Inter Frame Gap は特に指定する必要はありません。
5. 各ストリーム設定の Bursts per Stream を本プログラムの計算結果に設定します。※Frames per Burst は特に指定する必要はありません。
6. 最後のストリームの Jump Count を本プログラムの計算結果に設定します。※送信時間を指定しない場合は設定する必要はありません。

制約事項

本プログラムの計算結果を使用する場合，以下のストリーム設定は以下の値（デフォルト値）から変更しないでください。設定されるストリームが，本プログラムで計算した結果どおりにはなりません。

- Preamble Size: 8 バイト
- Frames per Burst: 1